

短歌 全17首


雷に床でふるえる盲導犬仕事離れかわいい姿 皆野中一年 太幡琉美花
 楚石の野短かき京偲びつつ白ツメ草の四葉を拾う(恭仁京跡にて) 皆野 萩原 初恵
 仕事して大汗かいて風呂入って一杯やってああ! ありがて 皆野 関根 達也
 定年し流れは早し四十年小さな仕事退屈凌ぐ 皆野 引間 万亀
 縛らるる仕事無き身は孫達の夏期の宿題サポート係 皆野 新井 節子
 S.Lの手を振る親子四人連れ通りすがりの吾も手を振る 下田野 戸塚喜久雄
 国土庁ダムよりFAX放流します台風降雨調整の為 皆野 藤原マキ子
 田植機を動かす娘見守りて畔で老父は手信号送く 国神 四方田利男
 朝テレビ放送中に地震きて番組変わり穏やかならず 上日野沢 四方田利男
 余韻まださめやらずしてパリトンの歌声に湧く去り難き帰路 皆野 根岸 詩子
 我々の傘寿を祝うポピー達バスの中から笑顔で眺める 皆野 村田ハツ代
 湿る花手鞠のように夕かげの中に眩しく仄揺れている 三沢 鈴木 卓恵
 名を問えば息子を名乗り「声がちがう」ときっぱり言えば電話は切れぬ 三沢 眞下 杏子
 梅雨の日のしめる心を和ませる亡き夫植へし紫陽花咲きて 下日野沢 浅見 豊子
 九輪草咲いて泥濘む中禅寺湖畔彩る五月雨の中 皆野 打木 昭廣
 美しき仕草あれこれ音頭の課程了へたる夜の館に 三沢 新井 民子
 持ち前の色もて咲ける花々を愛でつつ色素のふしぎ深まる 三沢 新井 叶子

根岸茉莉選 投稿数 15句

遠雷や言葉選びて友見舞う 国神 鈴木 正文
 (評)病院に友を見舞う時、どんな言葉をかけて励まそうか誰もが悩むところです。作者が見舞った友は重病で外から聞こえる遠くからの雷鳴は二層の不安をかき立てます。病状を案じ言葉を選びながら励ます作者の優しい一言々々が友の心の支えとなり、快方に向うことを祈ります。遠雷の季語、流石と思います。二句目、今年の梅雨は雨が多く日照時間の短かさも記録的とか。青空の恋しい毎日です。そんな中で一時梅雨雲の間から現れた月が丁度満月。澱んだ空気をはじくような輝きに作者の感動も一入です。三句目、千四百年前の蓮の種から花が咲いた奇跡。長い眠りから醒めたピンクの花達はどんなロマンを秘めているのでしょうか。
 久しぶり満ちて顔だす梅雨の月 保健室友の優しさ梅雨の晴れ
 三沢 眞下 杏子 皆野中1年 太幡琉美花
 古のロマンを語る古代蓮 生き甲斐は畑耕して夏野菜
 皆野 村田ハツ代 皆野 根岸 詩子
 紫陽花を活けて窓辺の華やげり 夜明けより声をはりける時鳥
 下日野沢 浅見 豊子 三沢 鈴木 貞恵
 紫陽花を玄関に活け客を待つ 被爆者の無念さ思ふ原爆忌
 皆野 萩原 初恵 上日野沢 四方田利男
 令和なる呼び名にも慣れ梅雨に入る またたびの葉白際立つ梅雨湿り
 下田野 新井 節子 三沢 新井 民子

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して
 みらい創造課までお寄せください。
5日必着
 1人1句、1首に限り

1歳になる赤ちゃんを募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

9月号の締め切りは、8月13日(火)まで。

問合せ みらい創造課 ☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

みほ 実穂ちゃん
 元金沢区 青木 陽典さん 弘実さん



笑顔のかわいい実穂ちゃん お兄ちゃんと仲良くね☆



今月の題字
 皆野中3年 吉岡 沙依さん
 国神小6年 岡田 優斗さん
 児童の見守り放送